

2012/2/22  
第34号  
(24年2月号)

# しののめ



長野県総合教育センター通信

〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4  
TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

生徒指導力のさらなる向上のために ～個として組織として～

生徒指導・特別支援教育部長 金田 弘子

前期にセンターにおいて研修を積んだ生徒指導専門研修教員7名が、後期は配置校(今年度は、中学校・高等学校)において研修を行っています。そして、各研修教員が月ごとにまとめた研修概要の報告が、センターに届けられます。

その報告を読みますと、各学校が生徒の不登校、学級不適応、反社会的行動など多くの課題に直面する中で、係会等に対応策を練り、学年会や職員会で共通理解を図って対応している、すなわち組織的対応が実践されていることが分かります。

ある研修教員の報告の中に、生徒の身だしなみへの対応に触れたものがありました。指導により生徒が頭髪を整えて登校した際に、教師が皆、そのことは褒め、さらに整えさせたいことは注意したところ、生徒は満足し納得したということでした。その研修教員が「教師が共通した指導方針を理解して生徒に接することが大切」と記しているとおり、すべての教職員による共通理解・共通実践は、生徒指導において欠かせないものです。

また、研修教員が生徒の話を聴いたり相談にのったりする中で、『自分の話をじっくり聴いてほしい』『担任の先生に聴いてほしい、そして自分のことを分かってほしい』と願っている生徒が少なからずいる』と感じる旨の報告が複数ありました。受容される安心感のある人間関係は、生徒指導の基盤となります。多忙感のある現在の学校ですが、児童生徒理解と人間関係づくりを大事にした、開発的・予防的な生徒指導の実践が求められています。

さて、当センターでは、来年度の研修講座の計画作りが大詰めを迎えています。

生徒指導研修では、児童生徒理解、対人関係力育成や教育相談の方法、不登校や問題行動への対応等に関して、キャリアステージに応じて、知識や方法を習得し、実践力を高める講座を予定しています。

教職員一人一人が生徒指導力を磨き、組織としての力量を高めていくために、来年度も多くの先生方が当センターの研修講座を受講されることを期待しています。



## 教育情報資料室の風景

中央には定期購読の雑誌、検索用パソコン、自習機などがあります。

奥の書棚には視聴覚ライブラリー、県内外の教育関係資料などを設置しています。



# 研修講座探訪

特別支援教育の研修講座で行った演習「15分解決法！」を紹介します。

## 【体験してみよう！15分解決法】

今年度は、特別支援教育研修 25 講座中 11 講座で「15分解決法」の演習を取り入れました。これは時間が長くなってしまいがちな事例会議を、効率よく実施できるようにするための工夫を、体験を通して学ぶものです。

15分の流れは右の通りです。演習の際には、それぞれをキッチンタイマーのベルの音によって区切って進行していきました。

**15分の流れは！**

- 1 事例を発表する！（1分間）
- 2 質問タイム！（3分間）
- 3 付箋紙に書く！（3分間）
- 4 一人1枚ずつ発表！（7分間）
- 5 事例提供者の発表！（1分間）

2

演習を通して、より良い支援策を考えるには、「3分間の質問タイムをいかに充実させていくか」を体験することを大切にしています。「5秒で質問、10秒で返答」するには、「質問を要点的に行い、端的に返答する」ということがポイントになり、「マイナス面だけでなく、プラスの面にも着目していくことで解決に結びつきやすい」ということを体験しました。それを各学校での支援会議の場で生かしていただけると、支援会議に対する負担感が減り、問題の早期発見・早期対応に結びつくのではないかと思います。

### 《受講者の感想》

- スピーディーで、具体的な方策がいくつも見つけられてよかった。
- 一人で考えるよりも、複数で考えた方が、良いアイデアが出ることを実感した。
- 「15分解決法」は、支援会議、ケース会議の進め方の一例として参考になった。
- 簡単にできて、短時間で済むので、取り入れてみたい。
- 支援を、チームでやっていこうと思った。
- 「15分解決法」で出してもらった解決法を、明日から実践してみたい。



「15分解決法」の具体的な進め方は、下記の長野県教育委員会のホームページからダウンロードできます。「平成23年度 教育課程・学習指導・学級づくりの基本」P49(PDF33 枚目)を参照ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyougaku/shidoukaizen/kaizen23-3.pdf>

# 研修講座探訪

## 【Webを使った学習教材の作成と活用】 12月2日(金)実施 (17名受講)

12月2日、「Webを使った学習教材の作成と活用」講座を開講しました。受講者一人一人がストリームオーサーというソフトを使用してスライド、動画、音声、画像ファイルやワードで作成したテスト問題などを統合し、eラーニング用教材コンテンツを制作し、Webページにアップロードしました。ストリームオーサーの特徴は、eラーニング用のコンテンツが容易に作成できることです。

参加された受講者は校種や教科など多岐にわたっていましたが、日頃授業で扱っている内容をテーマにし、それぞれ創意工夫をした教材を作成しました。例として家庭科の先生は「調理実習を始める前の心構え」をテーマにしたコンテンツを、英語科の先生は「カナダ」をテーマにしたコンテンツを作成していました。他にも、「漢字の書き順」、「俳句」・「短歌の学習」、「生物の分類」、「簿記の仕分け」、「ピアノの基礎知識」などバラエティーに富んだ作品が作成しました。

制作したコンテンツは NetCommons (ネットコモンズ) \*1 上にアップロードして、講座の最後に参加された受講者の作品をそれぞれ紹介しました。作品は全般的に完成度が高く、紹介するたびに感嘆の声があがっていました。学校へ戻っても、コンテンツの利用がしばらく可能であるため、学校での活用が期待できます。

NetCommons\*1：国立情報学研究所が開発したシステムで、Web サイトの制作・更新を専門的な知識がなくても容易に行うことができる。e-ラーニングをはじめアンケート、小テストなど教育的な利用ができる機能や、スケジュール管理や掲示板など情報の共有を図る機能を利用することもできる。



イヤホンを耳にあて、ナレーションの吹き込みを行なう受講者

制作したコンテンツの例

調理実習を行なう前の心構え	カナダをテーマにした英語教材

## 児童生徒の学力向上に役立つ

# 「クリア問題」「チャレンジ問題」に国語と理科を追加！

「家庭学習などで、今学習していることだけでなく前に学習したことにも取り組ませたい。」

「複数の領域の問題が、1枚にまとまっているプリントを作りたい。」

「学力調査などから見えた課題に対応した問題を確認したい。」



総合教育センターのホームページには、このような声に応えた問題が提供されています！算数・数学に加え、1月より国語と理科を提供開始しました。ぜひ、ご活用ください。

### ＜提供している問題の特色＞

- ◇算数・数学は、小学校4年から中学校3年まで、各学年の問題を国語、理科は、小学校5年と中学校2年を対象とした問題を
- ◇諸調査から課題が見えた問題を精選
- ◇「知識・技能」「活用」に対応
- ◇指導に役立つように、正答率、解答類型などの情報もコンパクトながら掲載
- ◇家庭学習に、ドリルの時間に、使い方も加工も自由自在

毎月更新

### 算数・数学

Clear 2012 4年 クリア問題 2 (月 日)

名前

1 次の計算をしなさい。  
(1)  $12.5 \times 4$  (2)  $4 \div 5$

Challenge 2012 3年 チャレンジ問題 2 (月 日)

名前

1 桃子さんは、種く葉のおよその身長が、上腕骨(肩とひじの間の骨)の長さから推定されたことを新聞記事で知り、その内容を下のようにとまとめました。

桃子さんのまとめ

一葉さんの身長は14.0cm台

### 理科

Challenge 2012 チャレンジ問題 (月 日)

名前

1 太郎さんは、ペトリ皿に水でしめらせただっしめんをしき、そこへインゲンマメの種子を置いて育て、発芽と養分の関係について調べました。

(1) 太郎さんは、図のアと同じようなインゲンマメの種子とエをカッターナイフで半分にし、そこにヨウ素液をかけた。かけたところはどうなりますか。次の①から④までの中から、あなたの考えに近いものを1つ選んで、その番号を下の解答らんへ書きましょう。

① アもエも同じくらい青むらさき色に変化した  
② アはむらさき色に変化した。エは色があまり変化しなかった  
③ アは色があまり変化しなかったが、エは青むらさき色に変化した

### 国語

30 地域 14版 2011年(平成23年)3月22日(火曜日)

読書の楽しさ広がる 糸野市 図書祭り

本日の街、糸野市で19日から3日、交遊祭の一環で催された糸野市立図書館周辺では、祭りの名物となっている大会や登場人物当てクイズなどのさまざまなイベントが開催された。

今年で3回目を迎える「図書祭り」には、市から昨年を約300人があり、例年以上の賑わいを見せた。

会場周辺の道路は歩道用になり、本や作家紙を売る店が並んだ。交遊祭では、午前と午分け、登場人物当てクイズなど催された。

1 小池さんは、この記事の中のA・B・Cの三つの関係について説明としてふさわしいものを、次の1〜4までの中から一つ選んで、その番号を下の解答らんへ書きましょう。

1 記事の中で最も伝えなかった内容をAで示し、それに賛成していることをCで示している。  
2 記事として取り上げた内容の中で最も古い事実をAで示し、それを解決しようとしていることをCで示している。  
3 記事の中で問題となっている事実をAで示し、それを解決しようとしていることをCで示している。  
4 記事の内容を短い言葉で見出しにしてAで示し、その内容を詳しく述べている。

2 小池さんは、この記事を読んで、糸野市立図書館において読書の楽しさを知りました。それは、どのような事実ですか。本文から適切な内容を下の解答らんへ書きましょう。

1 次は、小池さんが住む糸野市で行われた、「図書祭り」について、これを読んで、あとの問いに答えましょう。

チャレンジ問題 二月(如月)

月 日 名

# 正答率を県平均と比較することで見えてくる指導の重点！

1月号から、各月ごとの集計も実施しています。

エクセルファイルを期日までに送っていただいた学校には、県全体の問題別平均正答率を集計して返信します。

問題番号	<返信されるファイルの例>						
小問の番号	(1)	(2)	(3)	式	答え		
正答人数	113	108	83	83	80	100	98
貴校の正答率	95.0%	90.8%	69.7%	69.7%	67.2%	84.0%	82.4%
提出校全体の正答率	92.1%	89.2%	69.2%	64.5%	66.7%	83.9%	77.4%
全国学力学習状況調査の正答率	86.2%	87.0%	69.1%	39.0%	41.7%		

  

小学校5年算数 クリア問題 1月

問題番号	貴校の正答率	提出校全体の正答率	全国学力学習状況調査の正答率
(1)	95.0%	92.1%	86.2%
(2)	90.8%	89.2%	87.0%
(3)	69.7%	69.2%	69.1%
式	69.7%	64.5%	39.0%
答え	67.2%	66.7%	41.7%
3	84.0%	83.9%	
4	82.4%	77.4%	

## ◎ 利用した先生方の声

- ・数値を変えて関連問題がすぐできるので便利！
- ・個々のつまずきに応じて前の学年の問題から挑戦できる。自宅のパソコンからもアクセスできるので、勧めたい。
- ・チャレンジ問題を授業で扱い、定期テストに関連問題を出している。説明する力が少しずつついてきている。

中学校では **77% (144校)** の学校で利用され、非常に好評です。  
**アクセス数が増加中！**  
**算数・数学 1201**  
**国語 487 理科 417**

1月の  
アクセス

## ダウンロードはここから

長野県総合教育センターのトップページ  
<http://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp/>



■教育情報  
 ◆クリア・チャレンジ問題

ここをクリック！

## □ 活用方法の紹介

- 朝のドリル問題として活用
- 放課後等の補充指導に活用
- 前年度のつまずきの克服問題として
- 本年度の学習内容の確認問題として
- 単元末の補充指導に活用
- 家庭学習の問題として
- 春休み中の課題として

## 初任者研修・5年及び10年経験者研修の改善

総合教育センター教職教育部

平成24年度の初任者研修、5年及び10年経験者研修については、平成23年度といくつか変更する箇所がありますので、次年度にむけて受講の参考にしてください。

### 義務初任研スタート研修

校外研修について、現行では1年間で25日を行っていますが、平成24年度の対象者からは、初年次18日、2年次4日、3年次3日となります。

総合教育センターでは、初年次に全指定者が集合して、「初任研スタート研修」を行います。教師としてのスタートにあたって、3年間にわたる初任者研修の見通しをもち、教師の職責とやりがいについて確認する内容とします。

現行の冬期宿泊研修は、初任者の負担軽減等のため、中止します。

### 高校初任者研修

校外研修について、現行では1年間で25日を行っていますが、平成24年度の対象者からは、初年次23日、2年次1日、3年次1日とします。2年次・3年次の各1日は「課題研究研修」を行います。

また、宿泊研修は現行の夏期宿泊研修2泊3日、冬期宿泊研修1泊2日を、夏期宿泊研修のみの1泊2日で実施します。なお、夏期宿泊研修の中で行っていた体験研修は、9月に研修講座「体験研修」として、独立して実施します。

### 5年経験者研修

平成23年度の5年経験者研修の共通必修研修Ⅰ・Ⅱについて、どちらの講座も「小学校・特別支援学校」と「中学校・高等学校」の二校種を合わせた形式で行ってきました。

平成24年度からは、校種別に行います。名称についても、「生徒指導力向上研修」（小・中・高校別）、「特別支援教育教職研修」（特支）、「授業力向上研修Ⅰ」（小・中・特支別）、「教職研修」（高）という講座名に変更し、校種の特性をより生かした研修になります。

### 10年経験者研修

平成23年度の10年経験者研修も共通必修研修Ⅰ～Ⅲについて、「小学校・特別支援学校」と「中学校・高等学校」の二校種を合わせた形式で行ってきました。

平成24年度からは、校種別に行います。名称についても、「教職研修Ⅰ～Ⅲ」（小・中・高校別）、「生徒指導力充実研修」（小・中・高校別）、「特別支援教育教職研修Ⅰ～Ⅳ」（特支）という講座名に変更し、校種の特性をより生かした研修になります。

## 平成24年度に新設を予定する教育課題別研修講座

教育課題別研修は、児童生徒の状況や時代の要請をふまえ、今日における様々な教育課題の解決を目指した研修です。教科のカテゴリを越えた横断的、総合的内容について実践的な研修をします。

平成24年度は、「教務主任のための学校組織マネジメントⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、中学校国語、中学校数学、高校数学及び高校英語についての「作問研修」及び「放射線の理解と学校の安全管理」の8講座の新設を計画しましたので、以下に御紹介します。あなたの学校の教育課題解決のために、積極的な受講をお待ちしております。

### 「教務主任のための 学校組織マネジメントⅠ・Ⅱ・Ⅲ」

教務主任を対象に、学校組織マネジメントに関する講義、演習、グループ協議等を通して、ミドルリーダーとしての実践力の向上を図ります。各回の概要は以下のとおりです。

- Ⅰ … 教務主任に求められる役割と力、教育法規、リスクマネジメント 等
- Ⅱ … 教務主任に求められるリーダーシップ、組織づくり 等
- Ⅲ … 学校組織マネジメントの実際、地域との連携、キャリア教育 等

### 「作問研修（中学校国語）」 「作問研修（中学校数学）」 「作問研修（高校数学）」 「作問研修（高校英語）」

中学校国語及び中学校数学の講座では全国学力・学習状況調査を例に、高校数学及び高校英語の講座では大学入試問題等を例にとり、問題づくりや評価に関わる講義及び演習を通して、生徒の学力向上につながる教科指導力の向上を図ります。

### 「放射線の理解と 学校の安全教育」

原発事故の影響は、学校においても、除染、差別や風評の抑止、児童生徒の心のケアなど多岐に及んでいます。すべてを網羅することはできませんが、まずは放射線を正しく理解することから始めます。

さらに原発事故発生時の災害対策や、原発事故の被災地での放射線教育の実践例を学び、学校で放射線教育にどう取り組むかを一緒に考えます。

平成 24 年度新規事業

## 「高等学校校内研修サポートパック」

### 目 的

平成 24 年度から、**校内研修（OJT）を支援する**ための事業の一環として、新たに「高等学校校内研修サポートパック」事業を設定します。

原則として、県立高校の新規採用から 3 年目までの教諭を対象にしています。学習指導、生徒指導等を課題として校内研修を実施する高校に対し、支援及び助言を行い、教諭の資質向上を図ることを目的としています。

### 内 容

総合教育センターの高校関係専門主事を事業の実施校に派遣し、次の事項について支援及び助言を行います。

- 対象教諭に係る校内研修会の立案、実施、改善等に関する事項
- 対象教諭に係る次年度の研修に関する事項
- その他、事業実施校の校内研修（OJT）に係る事項

### 実施要項・提出書類

総合教育センターホームページのトップページ中、「教育相談事業」の校内研修支援から入っていただくと、実施要項及び提出書類がアップされています。ご覧ください。

なお、提出書類としては、「事業申込書」、「事業実施計画書」及び「事業実施報告書」があります。

### 手続き

事業の実施を希望する場合は、5 月末日までに、「事業申込書」を総合教育センター所長宛提出してください。申込みの内容に基づき、総合教育センターの専門主事の派遣が可能と判断された場合、当該校との打合せを行い、事業の実施に移ります。なお、詳しい手続きについては、実施要項をご覧ください。